

平成30年度

事業報告

社会福祉法人 野田芽吹会

千葉県野田市下三ヶ尾875-1

平成30年度 事業実施報告

I はじめに

30年度の後半によく栄養士と看護師を配置することが出来、利用者さんの生活面について専門職と共に考えるような体制が整えられた。更に通所部の整備計画が本格的に動き出し、設計・契約と31年度開設に向けて準備を整えることが出来た。30年度のはじめにOJTの質を高めるため、外部講師を交え責任者による事例検討会を行っていったが、取り組みについて全職員に伝えることが出来ず、かえって混乱を招く結果となった。どのように全体で考えることが出来るかが課題に残った。

半面、今年度は外部研修の強化を図り、1年を通した連続研修に職員が参加したことにより、支援の難しかった利用者さんに変化が見られたことは大きな成果となった。

30年度も毎月第三者委員を迎え、利用者さん・職員からの相談に対応していただき、さらに職員には虐待防止チェックリストとして職員セルフチェックリストで毎月支援の振り返りをしてもらいましたが、職員による人権侵害が発生し、コンプライアンス遵守が大きく問われることとなりました。施設全体で取り組む問題であり、二度と起こさないという強い気持ちで今後取り組んでいく所存です。

II 30年度法人事業実施報告

1 理事会・評議員会等の開催について

年月日	会議名	議題・報告事項
30年6月11日 (通知：6月4日)	理事会	<ul style="list-style-type: none">・平成29年度事業報告・決算の承認について・評議員会の招集について・非常勤就業規則の一部改正について
30年6月27日 (通知：6月18日)	定時評議員会	<ul style="list-style-type: none">・計算書類について・平成29年度の事業報告、非常勤就業規則の改正・65歳継続雇用規程の改正
31年1月13日 (通知：12月14日)	理事会	<ul style="list-style-type: none">・多機能型施設新築工事の指名業者の選定について
31年3月8日 (通知：3月8日)	理事会	<ul style="list-style-type: none">・職員による人権侵害について
31年3月20日 (通知：1月15日)	理事会	<ul style="list-style-type: none">・平成30年度補正予算について・31年度事業計画・収支予算について・職員就業規則・非常勤就業規則・給与規程の一部改正・サポート芽吹運営規定の一部改正について・評議員会の招集について
31年3月29日 (通知：1月15日)	評議員	<ul style="list-style-type: none">・31年度事業計画・収支予算について

III 野田芽吹学園施設・短期入所・共同生活援助事業の実施状況

当施設は、第一種社会福祉事業の障害者支援施設の経営（施設入所支援：定員50名、生活介護事業：定員50名）と第二種社会福祉事業の障害福祉サービス事業の経営（短期入所事業（定員6名）の事業および共同生活援助事業（定員11名）を実施しました。平均入所年数が22、6年となり、半数以上の方が20年以上入所しており、30年以上の方が

19名となっております。27歳から90歳と利用者さんの年齢層も幅広く、年々高齢化が進んでいる現状にあり、全体の平均年齢が53.5歳となりました。

高齢化に伴い、障害支援区分の見直しで女性利用者はほぼ最重度となり、全体の平均障害支援区分は5.78となりました。年度中に38歳の方が突然亡くなり、日頃の体調管理や健康状態の把握の仕方を再度確認しました。

1 利用状況

(1) 入退所状況：定員50名（平成30年4月から31年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男性	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	25	25
女性	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
合計	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	49	49
											1名 死亡	

(2) 利用者の障害支援区分（平成31年3月31日現在 平均5.78）

野田芽吹学園 利用者の 障害支援区分		区分4	区分5	区分6	合計	重度加算
	男性利用者	0名	9名	16名	25名	18名（再掲）
女性利用者	0名	2名	22名	24名	17名（再掲）	

(3) 短期入所（定員6名）利用状況

年度	延べ人数	延べ日数（1日平均）
30年度総合計	32名	1495日（4.1人）
29年度総合計	39名	1839日（5.0人）
28年度総合計	28名	2134日（5.8人）
27年度総合計	21名	2026日
26年度総合計	18名	2275日
25年度総合計	36名	2403日

24年度総合計	32名	2482日
23年度総合計	21名	2066日
22年度総合計	25名	2073日
21年度総合計	25名	2375日
20年度総合計	19名	1824日
今年度評価	利用者さんが退所等で長期に短期入所を使われる方が入所したことにより、平日利用の方が減りました。反対に土日の利用希望が多く、希望に添えない方もおりました。	

(4) 共同生活援助利用状況 (利用者11名)

入退所状況	性別	年齢	区分	備考
継続	男性	28歳	5	一般就労者
継続	男性	31歳	3	一般就労者
継続	男性	50歳	4	日中・地活センター利用者
継続	男性	52歳	4	日中利用者
新規	女性	27歳	4	生活介護利用者
継続	女性	43歳	4	通所利用者
継続	女性	44歳	4	通所利用者
継続	女性	51歳	5	通所利用者
継続	女性	52歳	5	通所利用者
継続	女性	63歳	5	日中利用者
新規	女性	57歳	5	日中利用者
今年度評価	グループホームを開設し、開設当初から利用されている方が2名11年目となりました。芽ぐみを開設して6年。新設した希の芽も4年目を迎え、それぞれのニーズにどのように応えるかが課題となっております。平均年齢は男性40.3歳、女性48.1歳。平均区分は4.36と区分の平均区分は高くなりつつあります。			

(5) 日中一時利用状況

委託契約・利用状況 野田市：柏市：流山市：香取市：松戸市：吉川市

委託市	本人の状況	人数	延日数	利用日数
野田・香取・松戸	ケアホーム等利用	10名	780	月から金
野田他	在宅（レスパイト）	27名	510	都度
野田	放課後利用	4名	123	週2回
	当年度合計	36名	1413	1日平均3.8人
	前年度合計	39名	1678	1日平均4.6人
	前前年度	35名	1797	1日平均4.9人
今年度評価	今年度は体験利用で数日間利用する方の利用がだいぶ落ち着き、放課後利用も減ったことにより、平日利用のグループホーム利用者が主な利用者となった。			

(6) 相談支援状況（児童）

	新規計画		継続計画		モニタリング		合計	平均 6ヶ月毎
	野田市	市外	野田市	市外	野田市	市外		
4月	(1)	0	0	0	9	2	12	29
5月	0	0	1 (2)	1	3 (7)	1	15	29
6月	(2)	0	3 (24)	6	3	2	40	26
7月	(2)	0	2	1	2 (4)	1	12	23
8月	(1)	0	1 (3)	0	1 (4)	0	10	22
9月	(1)	0	1 1 (1)	0	9 (5)	4	31	20
10月	0	0	4 (4)	1	6 (5)	0	20	21
11月	0	0	(4)	2	6 (3)	0	15	21
12月	0	0	(6)	1	10 (2)	6	25	19
1月	0	0	1 (5)	0	4 (3)	8	21	20
2月	0	0	3 (2)	1	1 (3)	0	10	20
3月	(3)	0	12 (5)	4	15 (1)	5	45	23

合計	(10)	0	38 (56)	17	69 (37)	29	256	
新規計画児童 10 名、継続計画 111 名うち児童 56 名、モニタリング 135 名うち児童 37 名と、合計 256 名中約半数弱が児童の依頼となりました。								

(7) 入退院状況

性別	年齢	病名	入院日	期間
女性	53	虚血性腸炎	4月25日から5月9日	15日
女性	66	大腿骨頸部骨折	5月22日から8月21日	90日
男性	58	統合失調症	6月29日から入院中	284日
男性	69	S状結腸捻転疑い	11月28日から12月20日	22日
男性	69	偽性イレウス	1月4日から1月25日	21日
延べ日数				432日
延べ人数				5名
<p>今年は精神科に長期入院の方がおり、症状が安定せず今後に向けて担当医と話を進めている所です。高齢化により最近の傾向として転倒による骨折や誤嚥性肺炎、腸の疾患等で入院する利用者が増えてきています。腸捻転は慢性化することがあるので日常の細かい観察が必要となっています。</p>				

(8) 帰宅状況

(25年度98人) (26年度82人) (27年度82人) (28年度63人) (29年度63名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日数	4	13	2	8	8	5	0	4	1	14	4	4	67
<p>帰宅の回数は横ばい状態となっております。一泊旅行や日帰り旅行なども実施しており、利用者さんの楽しみを今後も定着させていきたいと思っております。</p>													

2 職員の状況（異動状況を含む）※（ ）は非常勤数

職 種	30年	年度内		31年	31年	
	4月1日	退職・異動	採用・任用	3月31日	4月現在	
施 設 長	1	0	0	1	1	
事 務 長	(1)	0	0	(1)	(1)	
事 務	1	0	1	2	2	
(非常勤事務)	(1)	(2)	(1)	(0)	(0)	
看 護 師	1	1	1	1	1	
栄 養 士	0	0	1	1	1	
相 談 員	1	0	0	1	1	
サービス管責任者	1	0	0	1	1	
生 活 支 援 員	23	6	1	18	23	
補助員（パート）	(20)	0	(5)	(25)	(25)	
合 計	全 体	50	6 (1)	3 (5)	51	56
	管 理 部 門	5 (2)			7 (1)	7 (1)
	常勤換算 (支援員)	23 + 14				23 + 17

【調理委託】委託業者：東洋食品フードサービス

3 管理業務状況

(1) 健康管理業務

		○嘱託医による毎月1回の診察または相談の実施						
医 療 体 制 ・ 通 院 状 況	診療科目	病院名	30年	29年	28年	27年	26年	
	精神科	岡田病院・木野崎病院						
	内科	小張クリニック・新村医院・ 瀬戸	36名	21名	29名	41名	22名	
	外科	小張クリニック	9名	5名	1名	16名	20名	
	整形外科	小張クリニック・梅郷整形外科	8名	17名	20名	17名	13名	
	脳外科	小張クリニック	8名	5名	6名	6名	6名	
	消化器内科	小張クリニック	5名	5名	6名	8名	5名	
	腎内科	小張クリニック	5名	5名	6名	8名	4名	
	呼吸器内科	小張クリニック	3名	3名	3名	3名	0名	
	循環器内科	小張クリニック	0名	2名	1名	1名		
	皮膚科	小張クリニック・うめさと皮膚 科	24名	9名	9名	9名	6名	
	眼科	小張クリニック	9名	11名	7名	12名	11名	
	耳鼻咽喉科	小張クリニック	4名	2名	1名	11名	10名	
	泌尿器科	小張クリニック	16名	18名	10名	14名	22名	
	歯科	瀬畑歯科	23名	29名	31名	45名	20名	
	婦人科	小張クリニック	2名	4名	3名	2名	0名	
	口腔外科	日大松戸歯科部附属病院				3名		
	緊急時	夜間救急対応・救急車対応	2名	10名	3名	7名	3名	
			延べ人数	154	146	136	203	142
	健 康 管 理	○年2回健康診断の実施 (H30.7.27、H31.3.1)						
	○毎月1回、体重測定・隔月血圧測定 前期検便H30.9月 後期検便H31.3月							
	○インフルエンザ予防接種 H30.12.11							
	○職員対象緊急時の対応研修 都度感染症等職員会議時実施							

(2) 施設整備管理業務

施設設備の修理・工事	内容
施設設備の保守点検委託業務	エレベータ保守点検・汚水処理（ポンプ）・グリストラップ清掃・給水設備維持管理・水質検査業務・消防設備（SP）・給食設備点検
施設設備の管理業務	害虫駆除・産業廃棄物、一般廃棄物処理
施設会計業務	会計事務所委託

4 実習生受入状況

期間	学校名	人数
4月27日～5月9日	越谷保育専門学校	2名
5月14日～5月24日	埼玉東萌短期大学	2名
6月1日～6月12日	彰栄保育福祉専門学校	2名
6月月18日～6月30日	川村学園女子大学	2名
7月2日～7月14日	川村学園女子大学	2名
8月2日～8月14日	千葉女子専門学校	2名
8月20日～8月31日	東京YMCA専門学校	2名
9月3日～9月15日	埼玉学園大学	2名
9月17日～9月29日	江戸川大学おおたかの森専門学校	2名
1月29日～2月9日	千葉敬愛短期大学	1名
2月11日～2月22日	共立女子大学	4名
2月23日～3月6日	江戸川大学おおたかの森専門学校	1名
3月1日～3月13日	彰栄保育福祉専門学校	2名
合計		26名

5 ボランティアの受入状況

(1) 誕生会演芸発表ボランティア（毎月保護者会時実施）

4月	光和会	5名	生演奏
5月	ロゴス腹話術	2名	腹話術
6月	童謡の会	8名	童謡演奏
7月	浜富士会	7名	民謡演奏
8月	カ・フラ・オ・イリマ・アロハ	9名	フラダンス
9月	野田マジッククラブ	4名	マジック
10月	よたろう楽団	3名	サクソ演奏
11月	ひろぜん	3名	弾き語り
12月	公の会ザ・サンキスト	8名	歌と演奏
1月	誕生会のみ		
2月	榊原清光会	6名	懐メロ演奏
3月	ベント	3名	歌と物まね

(2) その他のボランティア

7月	野田弐八会	5名	そば打ち
10月	ビオラの会・福田女性会	3名	布団名前付け
10月	江戸専・二中・一般	11名	学園祭
	ライオンズクラブ模擬店	13名	学園祭
12月	ロータリークラブ・ジャスコ	10名	クリスマス会

6 事業実施状況

(1) 施設運営状況

①個別支援計画の作成・管理、支援マニュアル

個別支援計画の作成・管理	・担当が個別検討票を作成し、サービス管理責任者がそれを受けて個別支援計画案を作成。それぞれの担当が確認後ご家族・ご本人に説明し、概ね半年に1回見直していくという形をとりました。対応が難しいケースは事例検討会を開き、対応の仕方を共有し実践しました。
支援マニュアル	・統一した支援を行うには、マニュアルを作成し実行することが重要となります。作成するにあたっては会議などで積極的に意見の交換を行い、内容を確認して今の課題や足りないものは何なのかを支援員にわかりやすく伝え、誰もが取り組める

	支援マニュアルづくりをこれからも課題としていきたいと思います。
--	---------------------------------

②苦情解決委員会活動

第三者委員の相談	相談件数は25件ありました。職員への対応の仕方の相談や第三者の来園を楽しみにしている利用者さんの相談など、帰宅の話や少し不安になっていることを聞いていただきました。やや不安が強い利用者さんは話しが出来るだけで、安心した様子でした。また、職員から第三者委員への相談希望がありました。仕事に対する不安だったので、話を聞いていただきました。2月にインフルエンザが発生し、相談件数が減りました。
苦情相談窓口の設置	毎月第4土曜日午後開催。この他、苦情受付担当者（支援課長）、苦情解決責任者（施設長）が常時対応しました。苦情相談は6件で、日中利用者家族からの相談、利用者さん家族からの要望、地域からの問い合わせなど市や関係機関と連携し、苦情解決に努めました。
トラブル報告	利用者さん同士の接触で骨折事故があり、利用者さん自身の転倒と思われるあざの報告が多かった。さらに、薬の確認ミス、トラブルが増えたため、再度お互いコミュニケーションを取る様にしました。車椅子からの転倒が多く、朝夕の見守りが不十分なことから起床時間を遅らせることで、改善を図った。
その他の活動	第三者委員来園日に虐待防止委員会を開催しました。きりんの会の報告を行い、職員チェックリストで気になった点を話し合いました。人権侵害防止のための対応については第三者委員の方から厳しい意見をいただき、施設の体制を見直すきっかけとなりました。メンバーで話し合い、きりんの会の目標に入れるなど意識できるようにしました。

③支援関係会議の開催

朝会（毎朝開催）	朝の申送りでその日の活動予定を確認し、利用者さんの対応も話し合うことで、共通の理解が出来ました。日々、気になる利用者さんについては1日の対応を考え、統一した支援が出来るよう心掛けました。「今日も一日笑顔で支援していきましょう」とゆとりある支援が出来るように、「笑顔」で支援できることを目標としていき
----------	---

	ました。
全員出席の職員 会議の開催	事前に勤務表で調整し、公休日なしとし全員参加の会議を月1回開きました。午前中に男女の棟会議を開き、午後の職員会議で報告してもらい共有することで、共通理解が出来るようにしました。障がいの理解のための研修も多く取り入れ、補助員会議でも同じ内容で行うようにし、スキルアップに努めました。
個別支援会議	各棟会議で課題がある利用者を取り上げ、アセスメントから現在の支援方法を探り、事例検討会とし支援方法を考えていき、都度の変更はそれぞれの棟で考えてもらう形としました。
男性棟・女性棟 会議の開催	男女各棟で課題となっていること、変更したいことなど現場サイドで話し合いを行いました。全員の参加が難しく、事前に意見を聞くことで意見の交換を行っていききました。決定されたことは職員会議で共有し、支援の統一が図れるように努めました。
作業班会議	各作業班（かえで、ひまわり、あやめ、山吹、花水木班）に責任者を配置し、日中活動の充実を図りました。会議は各作業班で必要に応じて開催し、毎月作業補助員会議を行い、行事報告や連絡を行いました。
事例検討会	困難事例を挙げ、責任者で検討することでどのように支援すればよいか話し合いました。オブザーバーから意見をもらい、まず自分たちで動くことを行っていききました。今年度はOJTを意識して責任者が支援を理解するということで行っていききました。
責任者会議	毎月、職員会議で職員セルフチェックリストと支援で困っていることを記入する用紙を配り、虐待防止と職員とのコミュニケーションを図るようにしました。上司とのコミュニケーションが取りにくいという意見には直接話を聞くようにし、今どんなことで悩んでいるのか解ることで、お互い意志の疎通を図ることが出来ました。責任者会議では、職員からの提案事項の検討や運営面について話し合いました。

④施設内研修の開催

月 日	内容	講師	参加者
4月3～6日（4日間）	新人研修	施設長	新人職員

4月25日	行動規範確認	施設長	辞令式にて
4月25日	自己決定とわがままについて	施設長・管理者	職員
6月27日	服薬ミスをなくすための30個ワーク	施設長	職員
7月25日	安全運転について	安全運転管理者	職員
7月25日	拒否が強い人への対応について	施設長・管理者	職員・非常勤
9月26日	行動規範動画	DVD	職員
10月24日 11月28日	ノロウイルス感染症研修	健康栄養委員会	職員・非常勤
12月26日	インフルエンザ感染症研修	健康栄養委員会	職員
1月23日	支援のヒント（跳び箱応援動画）	施設長	職員

⑤施設外研修

- ・他施設見学（社会福祉法人 みづき会）
- ・他施設見学（佐賀県 NPO 法人それいゆ）
- ・その他（別紙参照）

（2）委員会活動

「行事委員会」は例年通りの施設内外・招待行事に参加することができました。今年度も誕生会にボランティアを要請し、催しものを楽しみながら毎月誕生会を開催することが出来ました。サロンは利用する方が数名とほぼ毎回同じ保護者の方の利用となっていますが、保護者会の後の保護者の方の情報交換の場所となっており、のんびり過ごしていただいております。「防災委員会」は避難訓練・AEDの講習等は予定通り行うことができました。水害避難訓練は初期避難として2階ホールへ避難する訓練を行いました。「広報委員会」は定期的に広報誌と通信の発行を行いました。委員の負担のかかる委員会となりますが、原稿の印刷は今年も印刷会社をお願いし、委員の負担は少なくなりつつあります。「物品管理委員会」は1名の配置ながら、おむつやトイレットペーパーや消毒薬の管理などをおこなうことが出来、「環境委員会」は破損や不具合の報告に対し迅速に対応することができました。「健康・栄養委員会」は保健所の栄養管理指導者からのアドバイスをもらいながら、委員で給食について委託会社と協力して検討しました。特別委

員会の「きりんの会」は権利擁護委員会として職員への啓蒙活動を中心に活動することが出来ました。

(3) 居室活動

個別支援計画に添って居室外出等計画・実施しました。秋の日帰り旅行や一泊旅行が定着してきました。個別活動とともにGWやお盆休みや年末年始に各棟で趣向を凝らしたイベントを企画し利用者さんに楽しんでもらいました。

(4) デイ（作業班）活動

5グループに分け、作業活動を行いました。各班に作業責任者を配置し、班ごとに特色のある活動や行事を行いました。かえで班では自閉傾向の方が落ち着いて作業が出来るように作業室を構造化し個別対応しました。散歩を多く取り入れ、施設内外を楽しみながら歩きました。花水木班ではディサービスの要素を取り入れ、作業時間中に楽しんで入浴をしてもらえるように職員を配置し、山吹班、ひまわり班は定期的に作業班の外出を計画し、あやめ班も新しく切手張の仕事を取り入れ作業収益の還元も含め作業意欲を高めることが出来ました。

(5) 地域生活移行のための試み

① クラブ活動

カラオケクラブは休日の活動を中心に行いました。1階ホールを活用し、発表する喜びと観る楽しさを感じてもらいました。樽太鼓は叩き手の高齢化もあり、人数は少なくなってきましたが定期的な練習は継続し、園内外行事での発表を行いました。

② 地域生活体験ルーム（多目的棟内）

緊急短期の利用者の方で、部屋の利用がありました。

H30. 5. 17～21 6. 23～25

(6) 地域活動

参加行事・施設行事等

月 日	行事名	内容
4月8日(日)	光和会のだ自慢	利用者・保護者参加
4月9日(月)	お花見招待	千葉カントリークラブ招待(利用者8名参加)
5月19日(土)	福田二小運動会	招待(午前中のみ参加8名)
5月20日(日)	梅川洋子一座秋まつり	利用者8名参加
6月16日(土)	おひさまといっしょに	関宿総合体育館
7月14日(土)	こぶし園夏まつり	樽太鼓演奏(利用者6名参加)
7月24日(火)	サンスマイル	むらさき音頭&プレイバルーン
8月11日(土)	三ヶ尾地区納涼祭	地域盆踊り 利用者6名参加
8月14日(火)	お盆余暇	男女に分かれてミニゲームと昼食
9月12日(水)	日帰り旅行(マザー牧場)	利用者20名参加
9月25日(火)	日帰り旅行(横浜中華街)	利用者19名参加
9月30日(日)	福田地区敬老会	「おひさま樽太鼓」発表
10月9・10日	一泊旅行(大洗方面)	利用者16名参加
10月13日(日)	野田市産業祭	利用者2名参加
10月28日(日)	学園祭	テーマ「愉快快活」
11月3日(金)	江戸専フェスタ	利用者3名参加
11月10日(土)	福二フェスタ	福田二小、3・4年生との交流会
11月4日(日)	くすのき苑祭	利用者3名参加
12月4日(火)	さわやか芸能発表	利用者9名鑑賞参加
12月18日(火)	ロータリークラブクリスマス会	レクレーション・プレゼント
12月19日(水)	福田地区福祉のまちづくり講座	NEW スポーツ 利用者9名参加
12月28日(金)	女性棟全体外出(昼食外出)	女性利用者28名参加
1月13日(日)	新年会	利用者・保護者・第三者委員・理事、評議員
2月8日(金)	男性棟お楽しみ会	男性利用者25名参加

（７）利用者家庭との交流

月１回、定期的に開催される保護者会に施設長・サビ管が参加し、情報交換等を行いました。毎回発行される学園通信、広報紙等をとおして、利用者の様子や施設運営の状況を情報提供しました。また、保護者会時毎回いろいろな行事ボランティアを誕生会にお招きし、保護者にも参加を呼びかけみんなで参加できるようになりました。

（８）特別活動

①きりんの会活動（人権擁護・人権侵害防止委員会）

・虐待防止マネージャー１名と男女職員各１名を委員に任命し、人権に配慮する支援環境作りに向けて活動をしました。今年は、各回の目標に具体的な例を挙げ、その目標に向かっての成果を検証しました。

７ 事務環境整備・施設環境整備

（１）事務環境整備

①事務環境状況

・支援記録や小遣い管理、会計等を充実するため、パソコンの利用の継続をしました。セキュリティ対策としてフォーティゲート（情報漏えい防止）を導入したため、パソコンの大きなトラブルはありませんでした。

・クラウドを導入し、会計事務所に月次報告や決算等を委託したため、会計業務は滞りなく行うことができました。

（２）施設環境整備

① 野田芽吹学園周辺道路整備事業（社会福祉充実計画）

長年の懸案事項でありました、野田芽吹学園周辺道路整備事業は、平成 30 年度予定した、まめバス停留所付近からの進入路約 180m 及び芽吹学園付近の坂道部分約 80m を幅員 6m に拡幅整備を行いました。予定した工事が完了したことにより、円滑な通行が確保され、近隣住民の生活

環境の改善を図ることができました。なお、平成31年度も引き続き道路整備事業を進めてまいります。

② エアコン洗浄作業及び交換工事の実施

利用者さんの居室エアコン洗浄並びに生活介護棟及び多目的棟104号室のエアコンの交換工事を行い、過ごしやすい環境作りに努めることができました。

③ パソコン及び周辺機器のリース替の実施

これまでの、パソコン及び周辺機器のリースが平成31年1月末で60か月のリース期間が満了したことにより、パソコンをWindows10にリース替えを行うと共にパソコン2台増設し、事務の効率化を図ることができました。

④ 給食施設整備事業

老朽化したコンベクションオープン及び食器洗浄機を購入したことにより、調理業務の効率化と衛生面に配慮した給食施設とすることができました。

8 補助事業の状況（30年度事業）なし

9 借入の状況

（1）独立行政法人福祉医療機構

●借入金額 120,000,000円

30年度返済額（利息含む）：11,553,877円

●利息（利子補給額含む）：477,877円

●利子補給額 : 333,938円

県（238,938円）

市（95,000円）

10 事故報告

- （1）怪我の報告 5件
- （2）支援ミス 1件
- （3）感染症発生 1件
- （4）人権侵害報告1件